１．発見日時	令和６年(2024 年) 7 月 10 日（水）10:00
２．発生海域名	北斗市久根別沖（図１）
３．発生状況 （規模、形状等）	沖合約 100m の距離で着色（規模不明）
４．優占種	藍藻類の一種（図２） 60 個体/mL ※群体を形成している点、緑色励起光で強く蛍光する点（図３）、細胞形状及び大きさ、青緑色を呈する点、群体の周囲には粘液状の膜が確認された点から藍藻類と判断され、種までは特定できていない。
５．その他	藍藻類は別名シアノバクテリアと呼ばれ、湖沼で大量発生した場合は、アオコと呼ばれ、大量発生した後に腐敗する際に悪臭を放つとともに、水中の酸素を大量消費して魚のへい死を発生させる場合がある。
６．参考図	

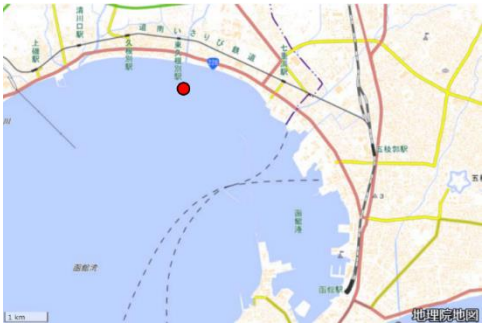

図１　赤潮発生場所の位置（赤い点付近）

地理院地図（国土地理院）https://maps.gsi.go.jp/を基に道総研作成

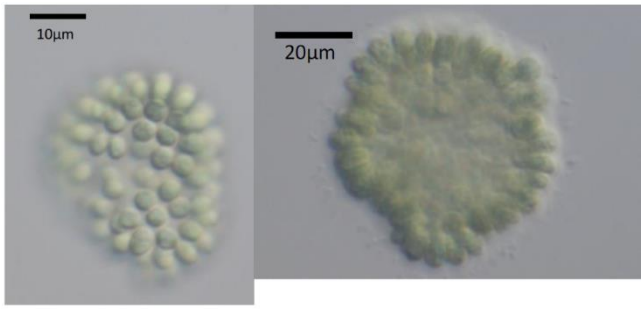

図２　優占種

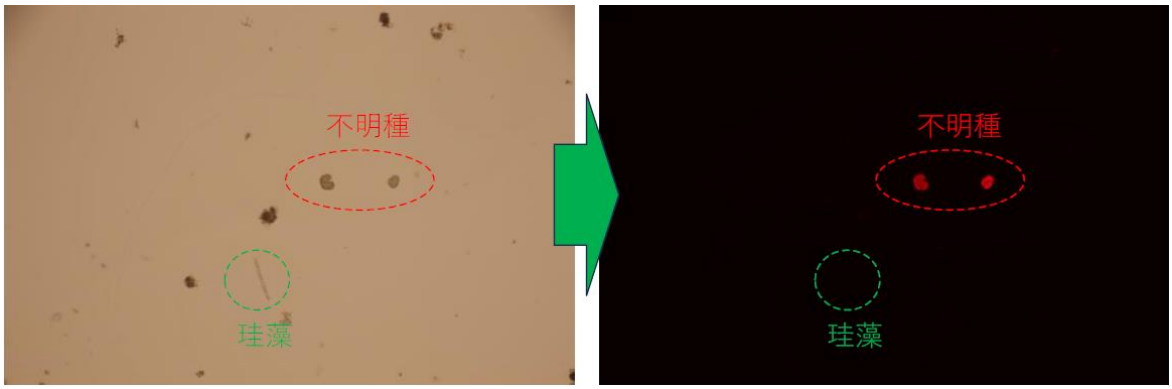

図３　不明種と珪藻類に緑色励起光を照射した時の蛍光の違い

※不明種では強く蛍光するが、珪藻では蛍光しなかった